

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2008年05月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2007000072"/> 整理番号 <input type="text" value="11163"/> 担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	オーロラカインースA及びオーロラカインースB遺伝子選択的発現抑制剤
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
適用製品	抗がん剤, 実験試薬
目 的	細胞分裂時に重要な働きを示すオーロラカインースA遺伝子またはオーロラカインースB遺伝子をそれぞれ特異的に発現抑制する化合物であり、投与後細胞内及び核内へ移行し、正常細胞には影響が少ないが、がん細胞を細胞死に導く化合物を提供する。
技術概要	オーロラカインース遺伝子を標的とした新規がん治療薬は既に開発され、抗がん治療薬として臨床試験が行われている。これらのオーロラ遺伝子の阻害剤は、遺伝子翻訳レベルもしくは蛋白機能レベルでの阻害剤である。 本発明は、オーロラ遺伝子の遺伝子発現調節配列を特異的に認識する新規の分子化合物がオーロラ遺伝子の発現を転写レベルで抑制できるという考えを基にしている。この分子標的化合物はオーロラ遺伝子の発現量を低下させることでがん細胞の増殖を抑制する効果が期待される。この分子標的化合物は、オーロラ遺伝子の転写調節領域に配列特異的に結合する化合物がそれぞれのオーロラ遺伝子の発現を特異的に抑制し、がん細胞培養株において増殖抑制効果を示すこと、さらに複数のオーロラ遺伝子の発現を同時に抑制することで、その効果が相乗的に働くことが確認済みである。

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>
会社名	<input type="text"/>
所 属	<input type="text"/> 役職 <input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/> FAX番号 <input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>
連絡事項	<input type="text"/>



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp